

令和3年度森林環境教育推進事業
錦江町立 大根占小学校

1 学習のねらい

森林の大切さや森林のはたらき，生物多様性，森林を守り育てる林業の役割などに関する知識や理解を深めるため，森林の体験活動を通じて，子どもたちが五感で感じながら学習する。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

① 森の働きの学習と木工体験 ② きのこの学習としいたけ栽培体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和3年7月10日(土)	8:40～11:20	学校体育館	5年生	26人	4人	30人
②	令和4年1月26日(水)	14:05～15:30	体育館・校庭	3年生	31人	4人	35人
	合 計 (延べ人数)				57人	8人	65人

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	実物のコンテナ苗やスギ・ヒノキの立ち木に触れながら，小さな苗木が50年以上かけて大きく育つ中で，二酸化炭素を吸収して地球温暖化防止等に役立っていることや，木を上手に使うことが森の木を育てることにつながるについて学習し，スギ板の「本立てづくり」では，尺がね，ノコ，キリ等の道具の使い方，木目を見て板の上下を使い分けるなどに気を付けながら木工を体験。	のこぎりや金槌等の刃物の取扱を注意指導	青年林業士 2人 錦江町役場 2人 振興局 2人
②	きのこの生態やしいたけの育て方を学習し，1mのクヌギの原木に各自でマーキング，ドリルで穴開け，種駒の打ち込みを行う。接種した原木は，校庭内の木陰をシイタケほだ場として伏せ込みを行う。シイタケの収穫は，二夏を経過する来年の秋頃から3年間程度見込まれる。	ドリルや金槌等の道具の取扱を注意指導	大隅森林組合 2人 錦江町役場 2人 振興局 4人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	苗木，スギ・ヒノキの立木模型，説明パネル，本立て材料，木工道具(尺がね，キリ，ノコ，金槌，釘，やすり)	ブルーシート
②	きのこ見本，説明パネル，シイタケ原木・種ごま，駒打ち用道具(チョーク，尺棒，ドリル，金槌)，ほだ場日除け	ほだ場の確保 (栽培：5年間程度)

7 ふり返り(担当者の意見，学校へのアンケート結果等から抜粋)

・5年生の体験では，「地元でどんな木があるか。」，「森で働く機械をもっと知りたい。」などの感想が聞かれ，森林・林業に興味を持ってくれた。
 ・3年生の体験では，駒打ちをしたシイタケ原木を校内にほだ場として設置したことにより，今後のしいたけの生育観察につながり，児童からは「きのこをじっくり観察したい。」や「自分で見つけたい。」などの感想が聞かれた。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林のはたらきの学習】



【木の手触り，匂いを感じる】



【本立てづくり】



【木工体験集合写真】



【きのこの学習】



【シイタケ駒打ちの指導】



【シイタケ駒打ちの体験】



【シイタケほだ場の設置】